

補助金申請のガイド

ページ 1	書類作成時の注意事項 交付申請、実績報告予定時期
ページ 2	<u>領収証受取時と保管時の注意点</u>
ページ 3	通帳の写し 提出方法
ページ 4～	<u>申請書 記入例</u>
ページ 10～	補助対象となるもの 補助金の対象とならないもの

「領収証の受取時と保管時の注意点」や「主な補助対象経費」などの注意点を記載しております。

冊子の実績報告書作成にむけても参考になりますので、ぜひご活用ください。

※注意事項 ※

- 訂正の際は塗りつぶしたり修正液を使用せず、
二重線で消し訂正印を押印のうえ余白に書き直ししてください。
- 修正可能な「消せるボールペン」や「鉛筆」で記入しないでください。
- 今年度分の自主防災組織活動補助金を辞退される方は、辞退届をご提出ください。辞退届は檀原市 HP に掲載しております。
活動補助金申請を再開される際は、危機管理課までご連絡ください。
(危機管理課：0744-21-1104)
- その他各書類の注意事項は、記入例に記載しております。

■交付申請、実績報告 予定時期

令和7年度中（R7.4.1～R8.3.31）の自主防災会の活動（防災訓練、防災知識の啓発活動、その他組織の運営に必要な活動）に対する補助金について

令和7年6月	補助金申請書送付、申請受付
令和7年7～8月頃	補助金交付決定通知書送付、入金
令和8年2月末～4月	補助金実績報告書送付、報告受付

※ 領収証の受取時と保管時のご注意

公金支出について、より厳格さが求められており、本市における補助金についても下記のとおり取り扱うよう指摘がありましたので、ご注意ください。

【例】 領収証 ④ 令和00年00月00日

① ○○○防災会 様

¥00,000 —

印

② 但 ○○代として上記正に領収いたしました

内訳 ○○○

税抜金額 ¥00,000

消費税 ¥0,000

③ ○○○○株式会社
○○県○○市○○町
TEL 00-0000-0000

①正式組織名の記載

不可【自治会名、個人名、自治会名と防災組織名の併記】

②内訳の記載

不可【「防災商品」又は「発電機他○○件」と内訳が不明なもの】
【品目、単価、個数などの不明なもの】

③領収証発行元(店名)の記載

④年度内の購入【令和7年4月1日～令和8年3月31日】

※手書きの領収証ではなく、レシートのような形で発行された場合、
宛名が記入できる様式になっており購入品目の内訳も印字されています。

○

領収証のみでOK

○○ホームセンター

領 収 証

令和7年9月1日

○○○防災会 様

○○○○○○○○	¥□□□
○○○○	¥□□□
○○○○○○○○	¥□□□
○○○○○○	¥□□□
○○○○	¥□□□
○○○○	¥□□□
○○○○○○	¥□□□
¥□□□	

✗

「支払証明書」と一緒に提出

○○商店

領 収 証

令和7年8月19日

○○○○	¥□□□
○○○○○○○○	¥□□□
○○○○○○○○	¥□□□
○○○○	¥□□□
○○○○○○○○	¥□□□
○○○○○○	¥□□□
○○○○	¥□□□
○○○○	¥□□□
○○○○○○	¥□□□
¥□□□	



インターネットで購入した場合は、購入サイトより領収証又は領収証と同等書類の印刷をお願いします。
同等書類とは商品の詳細な情報、値段、支払い先の宛名(個人名可)などが記載されている書類です。
実績報告時に、「支払証明書(別紙⑤)」と一緒に提出してください。

通帳の写し 提出方法

※必ず提出をお願いします。

振込先に誤りがあると、会計処理に相当の日数を要することから、他の団体にもご迷惑をおかけすることになります。

通帳の写しを確認する必要がありますので、振込先変更の有無に関らず提出をお願いします。

通帳の表紙を開いた

表紙裏面(金融機関名・支店名・口座番号・フリガナ記載)

部分の**コピーの提出**をお願いします。



通帳見開き1ページ目

〇〇〇銀行	
〇〇自主防災会 会計 ●●□□ サマ	
店番	口座番号
025	00000000
〇〇〇銀行 □□支店 TEL ---	
----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	

持参日又は、郵送する日を
記載してください。➡

令和7年 月 日

記入例

補助金交付申請書

(宛先) 檀原市長

内を記載してください。

代表者の住所

防災組織名

代表者名

檀原市自主防災組織補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり申請します。

1 結成地区、町名及び世帯数

地区 町 世帯

2 結成年月日 年 月 日

※ 補助金算出基礎となる結成年度数 年度目

3 補助金交付申請額

☐ 結成補助金 円

☒ 活動補助金 円

(結成年度数により補助率を乗じた金額)

補助率を乗じる前の金額 円

内訳 基本額 円

世帯割 円

記入例

補助金交付請求書

(宛先) 檀 令和7年 月 日

※請求書の日付と
指令番号は空欄

代表者の住所
防災組織名
代表者名

檀原市自主防災組織補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり請求します。

内を記載してください。

1 指令年月日及び指令番号

令和7年 月 日 檀原市指令第 号

2 補助金交付申請額

☐ 結成補助金 円

☒ 活動補助金 円

3 口座情報の変更の有無 (いずれも通帳の写しが必要です。)

☐ 有 ⇒ 別紙④にご記入ください。
☐ 無

記入例

年度 自主防災会役員名簿

※会長、副会長、会計、会計監査の方は、氏名にフリガナの記載をお願いします。

役職	氏名(フリガナ)	住所	電話
会長	〇〇 〇〇 □□ □□	〇〇町 1 - 2 - 3	〇〇 - ◇◇◇◇◇
副会長	△△ △△ 〇〇 〇〇	〇〇町 1 - 2 - 4	〇〇 - ◇◇◇◇◇
会計	◇◇ ◇◇ ◎◎ ◎◎	〇〇町 1 - 3 - 5	〇〇 - ◇◇◇◇◇
会計監査	〇◇ 〇◇ △◇ △◇	〇〇町 1 - 4 - 6	〇〇 - ◇◇◇◇◇
情報班 班長	〇〇 □□	〇〇町 1 - 2 - 3	〇〇 - ◇◇◇◇◇
情報班 副班長	△△ 〇〇	〇〇町 1 - 2 - 4	〇〇 - ◇◇◇◇◇
消火班 班長	※役員改選の有無に関わらず提出してください。 様式は、任意です。 ※会長、副会長、会計、会計監査の4役は必ず記入してください。4役はフリガナもお願いします。 ※防災会の役員を記入してください。 (自治会役員の記入は不要です。)		
消火班 副班長			
救出・救護班 班長			
救出・救護班 副班長			
避難誘導班 班長			
避難誘導班 副班長	〇◇ 〇◇ △◇ △◇	〇〇町 1 - 4 - 6	〇〇 - ◇◇◇◇◇
給食・給水班 班長	〇〇 □□	〇〇町 1 - 2 - 3	〇〇 - ◇◇◇◇◇
広報班 班長	△△ 〇〇	〇〇町 1 - 2 - 4	〇〇 - ◇◇◇◇◇
顧問	◇◇ ◎◎	〇〇町 1 - 3 - 5	〇〇 - ◇◇◇◇◇

記入例

令和7年度事業計画書

防災活動に必要な事項を定め、もって地震その他の災害による人的、物的被害の発生及びその拡大を防止することを目的とする。

2. 計画事項

この計画に定める事項は、次のとおりとする。

- (1) 防災組織の編成及び任務分担に関すること
- (2) 火災予防等災害予防に関すること
- (3) 防災に関する知識の普及に関すること
- (4) 防災活動に必要な資機材の整備に関すること
- (5) 防災訓練の実施に関すること
- (6) 災害発生時における情報の収集連絡、出火防止、初期消火、救出救護、避難誘導等、応急対策に関すること
- (7) その他必要なこと

	活 動 内 容	人 数
4月	総会、防災計画・事業計画の承認、会計監査報告	
5月	役員会、資機材の点検	5 人
6月	各班会議、土嚢積み訓練の実施	15 人

※ 今年度の自主防災会の年間事業予定を記入してください。
様式は任意です。

※ (5) 防災訓練の実施に関することについて

実施月が確定していない場合は、備考欄に現時点で予定している訓練内容や時期を記入してください。

※ かしはら安心パークでは、各種訓練・講座を行っております。
講座内容や施設の運営状況については、かしはら安心パークへお問い合わせをお願いします。

TEL：0744-46-9901

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

※ 出前講座も開催しております。ぜひご利用ください。

備考

自主防災会規約及び防災計画の変更

☐ 有 ⇒ 提出をお願いします

☒ 無

令和7年度 補助対象経費収支予算書

防災組織名：

檀原 防災会

(円)

収入項目	本年度予算額	備 考
市 補 助 金	90,000	
自治会補助金又は繰越金等	〇〇円	←予算が補助金額を上回る場合、不足分金額を記入又は入力
収入合計	100,080	

補助対象経費支出項目	支出予定金額	品名	数量	使用目的
訓 練 費	3,080	マーカー、コピー用紙(避難経路確認)、コピー代	一式	
資機材購入費	54,000	リヤカー、パール	3個/5個	災害時救助用
啓 発 費	8,000	コピー代、コピー用紙代	500	地域防災マップ配布
備 蓄 費	30,000	災害用マット	5	避難時使用
消火器整備費	5,000	消火器詰め替え	1	火災時消火用
燃 料 費				
支出合計	100,080			

※【収入合計】と【支出合計】の
数字が合致していることを確認してください。
※金額が不明なものは、大体の金額を記載して
ください。

※補助対象となる支出項目の内訳(品目、数量等)
を具体的に記入してください。

※支出項目の品名については、
現時点で予定されている内容を記入してください。

支出項目について【P10 主な補助対象経費も参照してください。】

記入例

口座変更について

前年度振込先

金融機関名	〇〇銀行		
支店名	〇〇〇	支店	
預金種別	普通		
口座番号	5555555		
フリガナ	カシハラボウサイカイ		
口座名義	檀原防災会		

前年度の振込先をご確認の上、変更がある場合は下記に記入してください。

※ 口座名義の変更のみの場合でも全ての項目をご記入ください。

今年度振込先

金融機関名	檀 原 銀行 ・ 農協 ・ 信金						
支店名	八 木			支店			
預金種別	普 通 ・ 当 座						
口座番号	1	1	1	1	1	1	1
フリガナ	カシハラボウサイカイ カイケイ カシハラ カシオ						
口座名義	檀原防災会 会計 檀原 檀男						

通帳見開きに記載してあるとおりに口座名義を記入して下さい。
(省略不可)

※ 変更がない場合提出は不要です！！
(変更の有無にかかわらず、通帳の写しは必要です。)

通帳の写し 提出方法

をご確認ください。

【補助対象となるもの】

※商品購入に係る送料、手数料も補助対象経費になります。項目は追加していただいて結構です。

高額な場合は対象外となる可能性があります。高額になる場合は、危機管理課までお問い合わせください。

	支出項目	主な内容
1	訓練費	防災啓発を目的とした施設の入場料や交通費など 研修・講習時使用する用紙代やコピー代、施設使用代など 安否確認用タオル(マグネット) など ※飲食に係る費用は対象外。(炊き出し訓練費用は対象)
2	資機材購入費	防災倉庫、倉庫整備に係る費用【倉庫設置費、倉庫内の棚設置など】 救助・避難などに用いる機材 【パール・ジャッキ・ウィンチ・ロープ・はしご・ハンマー・つるはし・のこぎり・発電機・蓄電池・水中ポンプ・かけや 投光器等の照明機器・コードリール・チェンブロック・担架・リヤカー・スコップ・消火用バケツ・もっこ・ヘルメット 車椅子・車椅子用スロープ・ボトルクリッパー・避難誘導灯・三角コーン・拡声器・台車 など】 情報収集機器【ラジオ・トランシーバーなど】 災害本部設置用品【防災本部用のテント・テント幕・机 など】 感染対策用品【パーテーション、サーキュレーター など】
3	啓 発 費	啓発パンフレットや避難経路図印刷代など
4	備 蓄 費	一次避難所用品【防災用マット・毛布・簡易トイレ・災害用トイレ用品・給水袋・ゴミ袋、テープ、段ボールベッド、 ブルーシート、防災用タオル(ウェットティッシュ)、給食用品(釜・鍋・コンロ等)・救急用品セット など】 感染対策用品【マスク、非接触温度計、消毒液、使い捨て手袋など】 災害対策・災害救助用品【土のう袋、防塵マスク、耐切創用手袋 など】 本部運営用品【防災委員用のジャケットやビブス、腕章、油性ペン、筆記用具 など】
5	消火器整備費	消火器新規設置、消火剤の詰替代、消火器BOX修繕等 ※各家庭に配置する消火器やマンション・共同住宅等で消防法に義務づけられている消火器は対象外です。
6	会 議 費	会場借上費、資料作成費(コピー代、用紙代)、会議時ペットボトルお茶代(年度内の会議等に使用するものに限る) など
7	事 務 費	印刷用紙代、コピー代、切手、封筒など (いずれも自主防災活動に関わるものに限る)
8	改修・修繕費	防災倉庫、発電機などの改修・修繕費用
9	年末パトロール・夜警費	年末の警戒活動に係る費用 【誘導灯、乾電池、お茶など】
10	燃 料 費	災害発生時、機械点検試運転に用いるガソリン・灯油など △領収証のほか、購入日、給油量を記載した伝票必要

【補助金の対象とならないもの・取り扱い留意事項】

●自治会として使用する事務用品や自治会公民館などの施設の備品となるテレビ・プリンター・テプラなどの購入費

（あくまで自主防災会として活動するための活動費、備品は購入補助となります。）

●弁当、アルコール飲料などの購入費 （会議や防災訓練のものであっても対象外です。）

●懇親会などの飲食代

●研修会参加者への手当や、車を提供された方、外部講師や役員等への謝礼金等

●防犯カメラや防犯灯の設置及び維持管理に関する経費（防犯関係は市民協働課へご相談ください。）

●防災用水、防災倉庫等の借地代、防災井戸の水質検査代・工事代など

●対象品目であっても、領収証のないもの

（ 領収証の紛失やインターネット通販で領収証を発行しない業者からの購入等は、ご注意ください。）

●購入品目内訳や発行元が不明または記載のない領収証

※ 宛名が個人名や自治会名義などは認められません。

※ 領収証の内訳（品名、単価、個数等）の記載がないもの、

「防災商品」又は「ハンマー他〇〇件」と内訳が不明なものは認められません。

※ 領収証発行元(店名)などが記載されていないものも同様に認められませんのでご注意ください。

●当該年度よりも以前に支払いしたもの

●各家庭で備えるべきもの、その他補助金の交付目的にあわないものや単に個人の利益となり得るもの

補助の対象は、個人で使用する物ではなく、組織で使用するものです。

本来個人で備蓄するようなものを配布するために購入した場合は、補助の対象外となります。

〔自主防災組織での備蓄や防災訓練の啓発品は可〕

（例：各世帯に配布するための備蓄食料や水、家庭内での使用を目的とした火災報知機や消火器、防災用品など）

● 1 組織に複数個が必要であると判断できない、または組織規模等に比して過剰な量または大きさの備品等。

（客観的に合理的な理由がある場合は別途、危機管理課までご相談ください。）

●補助金を次年度に繰越はできません。